



連載 小中学校だより

生き生き!

ゆがわらっこ vol.14



東台福浦小学校

あ・い・う・え・おの学校

地域ボランティアによる「う」つくしい学校

本校では、年間を通して「あ」いさつができる、「い」じめのない、「う」つくしい、「え」があがぶれる、「お」もいあう心をもった、学校を目指しています。今回は、「う」美しい学校について、地域のボランティアの方々が担っているところを紹介します。

一つは、玄関前ピロティーの花鉢のことです。春夏秋冬を通じて玄関前から花が絶えたことがありません。土・日や連休の時にも世話をしてくれる遠藤さんがおられるからです。水やりや植え方も丁寧に教えてくれます。



また、プランターの植え替えをするときは、保護者の方たちにも声をかけ、お手伝いを募ります。毎回、多くの方が参加してくれます。広げたシートの上で腐葉土と使用した土を混ぜます。混ぜた土を手際よくプランターに入れ、植えていきます。役割分担が自然にでき、短時間での作業となっています。皆さんの協力のおかげです。

もう一つは、生け花ボランティアの方々の活動です。毎月、3～4回、荒木さん、中橋さんが交互に花を生けてくれます。ご自分の家のもの、近所でいただいたものや購入されたものだそうです。児童用昇降口を入れると階段脇にあり、児童や職員に「おはよう！今日もがんばろう。」や「さようなら！明日も元気になね。」と応援してくれているようです。

生け花ですので、1週間ほどで飾れなくなりますが、「何月の花」として以前の花の写真も飾っています。



湯河原中学校

キャリア教育

本校では、昨年4月から“キャリア教育”を学年ごとに段階的に進めています。3年生は、1・2年生の時の職業学習をもとに学習を積み重ね、卒業後の進路を考えました。1年生は、現実の社会にはどのような職業があるかを学習するため、夏休みには身近な方にインタビューし、まとめました。それを受けた学習を積み重ね、1月下旬に職業見学を行いました。職業見学では、希望や分担によって各個人が各事業所に電話をかけて依頼をしました。そのために各事業所の事をいろいろと調べ、質問内容を考えました。今回の見学

で得られた成果は、個人個人でまとめ、これから学年で発表していく予定です。

2月4日(水)には2年生が職業体験を行います。見学だけでなく実際に体験することを第一に考えています。体験することによって、その職業の喜びや見かけと違う面などを知ることができると思います。

地域の一員として、地域の中に入りていき、多くの方に面倒を見ていいただきながら成長を促していくと考えます。これからもどうぞご支援をよろしくお願ひします。



写真は1年生の夏休みに行った
「職業インタビュー」のまとめです。

キャリア教育とは

子どもたちが「生きる力」を身に付け、明確な目的意識を持って日々の学業生活に取り組む姿勢、激しい社会の変化に対応し、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力やしっかりとした勤労観、職業観を身に付け、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができるようとする教育です。

学校だより